

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

4-I-10

4-I-10

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	二次交通の充実・改善
節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	10 路線バス運行計画の推進	事業主体	佐渡市交通政策課
		関連団体	新潟交通佐渡㈱
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○繁忙期、冬期を考慮した二次交通の充実を図る。	
	【事業内容】	○路線バスの効率的な運行、観光客の利便性確保に向けて適切な運行計画の推進を図る。 ○路線維持確保のための公的補助等を行う。	
元事業計画と実績	【元年度計画】	●島内路線バスを維持確保のため公的補助を実施する。 ●路線バスの利用促進策として、バスフリー乗車券の販売を実施する。	
	【元年度実績】	●島内路線バスについて、国・県・市における公的補助を実施した。 ●佐渡汽船の運航ダイヤ改正に合わせてバスダイヤも改正し対応した。 ●バス3dayパス券を販売・実施した。(H30:4,283枚 H29:4,114枚) ●外国人向け「Sado-niigata pass」の販売を行った。(バス3dayパスに佐渡汽船、新潟市内バスを一緒にしたバス)	
課題・今後の取組	【課題】	■路線バス利用者の減少と路線維持に係る公費負担が増大する。 ■利用者が減少する路線のあり方を検討する。	
	【今後の取組】	■路線バス運行を維持するための公的補助の継続実施する必要がある。 ■観光2次交通として利用促進策(バス3dayパス券販売)を継続して実施する必要がある。 ■外国人向け「Sado-niigata pass」販売する。 ■利用者の少ない路線のあり方を検討する。 ■定時定路線型のバスから、デマンド型交通などの地域事情や需要に応じた交通サービスの導入に向けて取り組む。	
事業評価	【事業の達成度】 [a (b)・c]	◇路線バスは公的補助により運行計画のとおり実施されているが、バス利用者全体は減少傾向にあるためB評価とした。	
	【事業実施の効果】 [a (b)・c]		
	【総合評価】 [A (B)・C]		

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。